

種 ま き 通信No.79

いつも市民派 ずっと無党派
小林じゅん子 議会だより

事務所 〒399-8301長野県安曇野市穂高有明9972-1
Tel. 0263-83-4387 (090-4546-3496) Fax. 0263-83-4938
http://junko.voicejapan.net/ メールはjunko@childnet.ne.jp



発行日：2022年5月10日
発行者：小林純子

◆安曇野市議会3月定例会 小林じゅん子の一般質問◆

Q 1. 誰一人取り残さない安曇野市の住宅政策

2人の連帯保証人が必要ななど、市営住宅の入居者条件の見直しを

Q1【小林質問】 市営住宅には入居要件として税金等の滞納がないこと、2人の連帯保証人を立てることがあり、この要件が入居の大きな障害となっている。現在、コロナ感染症の社会的影響によって、住宅を失った市民については、この要件を満たさない場合でも入居できるよう配慮しているが、これは本来、市営住宅の目的（住宅に困っている低所得者向けに安い家賃で提供する）からしても、また昨今の少子高齢化の社会情勢からも、保証人の確保や税の滞納がない等の入居要件は無くすべきではないか。

【都市建設部長】 本市では、滞納家賃に係る保証を入居時家賃の3カ月分に相当する額まで、原状回復保証については10万円までが上限である。この家賃保証の上限は、県内では20カ月分までとする自治体が多い中で、本市は低く設定している。

【小林質問】 2人の連帯保証人を立てることは非常に難しい社会状況がある。入居希望者の両親・親族など連帯保証人に想定される人々が高齢化しており、65歳以下の保証人を立てるのは困難。家賃保証保険に加入することで入居できるようにしてはどうか。令和2年の保証人の取扱いに関する国交省通知の後、保証人要件をなくした自治体が424、免除する場合があるとした自治体が677で、全国市町村の約半数が対応済み。

【都市建設部長】 保証人に代わる制度等、入居の条件緩和ができる方法がないか調査していく。今後の社会情勢を見つづ、見直しを検討していきたい。

以上のほかに、①化学物質過敏症、シックハウス、香害などで、一般的な居住環境では生活が困難な市民向けに、古い公営住宅や空き家などの活用を ②入

居率の低い教員住宅等の公共住宅を、シングルマザー専用シェアハウスにリノベーション 等々の提案をしました。

※安曇野市では、DV被害者の避難施設（住宅）、生活困窮者や被災者の一時宿泊所などの緊急対応の住居や、移住促進のための「おためし住宅」、新規就農者住宅などの政策的対応の住宅等を用意しています。お気軽にご相談を。市役所TEL. 0263 - 71 - 2000へ

あづみ野ランドのプール残して！委員会では採択 ～本会議では 賛成10：反対11で逆転不採択～

3月8日の総務環境委員会、「あづみ野ランド」のプール施設を含めた改修と良好な維持・運営を求める陳情書は、陳情者の方から陳情の趣旨やご意見を聴くなど、1時間近くかけて丁寧に審査をしました。

あづみ野ランド改修に対する市の意見を聞いたところ、地元区長や総代及び組織市町村の職員で構成するあづみ野ランド検討委員会が組織され、その報告を踏まえての計画と認識している。とか、施設改修の基本計画は承知しているが、予算の細かなことまでは聞いていない等、淡々とした答弁。広域6市町村の組合で運営しているゴミ焼却施設と、その余熱を利用した「あづみ野ランド」の運営には、さほど高い関心がある様子もなく、毎年4億円近くゴミ処理費を負担している安曇野市がそれでいいのかと、疑問を感じました。

審査の結果は、あづみ野ランドはゴミ焼却施設を建設した時の「めいわく施設の補償」として建てた施設であるから、地元の「プールはいらない、浴場の充実を！」の意向が最優先されるべき＝陳情に反対が3人。プールを残した改修に賛成＝陳情に賛成が3人。賛否同数となったため委員長裁決になりました。委員長は採択に賛成、「あづみ野ランドのプールを残して！」の陳情は、総務環境委員会では採択と決定。

ところが、3月18日、3月定例会の最

安曇野まちづくり なんでも相談

個人的なことは、政治的なことなのだ！

まだまだコロナ感染が心配な状況がありますので、三密を避け少人数で開催します。身近な「お困りごと」や「何とかしたいこと」など、ちょっとおしゃべりしてみませんか。

昼の部/5月21日(土)19時～

夜の部/5月22日(日)14時～

場所

薪ストーブの店・地平線倶楽部2階

問合せ：0263-83-5446/地平線倶楽部

終日の本会議審議では、採択に賛成10人・反対11人で逆転不採択。残念な結果となってしまいました。

僅差で採択に至らなかった状況から、（組合長でもある）太田市長には、改修はどうあるべきか再検討をお願いしたいです。以下、小林純子の討論です。

小林じゅん子はプール存続に賛成

あづみ野ランドは、地元の人々にとっては迷惑施設であるゴミ焼却施設を建設するにあたって、補償の一環で提供した施設なので、「その改修にあたっては地元地区の意向であるプール廃止を前提とした大規模改修で進める」という方針には、いくつか問題があることを今回の陳情により気付かせてもらいました。

問題の一つ目は、あづみ野ランドの改修

は地元地区の意向のみを反映すればよいのかという点です。地元住民のための福利厚生施設として提供されたものとはいえ、10年20年とたつうちに安曇野市民をはじめ、組合構成市町村の皆さんが入浴だけでなく、プールを利用した水中運動で体力づくりや健康増進、病後のリハビリや障がい者の療養など、広く利用されるようになったあづみ野ランドです。利用している人々の意向も十分に反映されなければなりませんし、元はと言えば組合を構成する市町村の税金で整備した施設ですから、地元住民（裏面に続く）



▲あづみ野ランドはゴミ焼却の余熱を利用した施設（ホームページの情報より）

種まき通信No.79

「種まき通信」の郵送を希望される方は電話・メール等でお申し込み下さい。
◆「種まき通信」は年4回発行しています。そのうちの1回は新聞折込にてお届けしています。毎号の郵送をご希望の方はお申し出ください。

この数字は？ 7億円か 3億2,000万円か

あづみ野ランドの改修費

プール廃止して浴場充実 7億円

現状のプール残した改修3.2億円

（表からの続き）の意向だけで決めてよいというものではありません。

問題の二つ目は、改修費用をどう用意する

か検討されていない事です。穂高広域施設組合の新年度予算に「プール廃止を前提とした大規模改修の設計業務委託料3,878万円が計上されたのですが、7億円とも言われる改修費用をどう調達するのか説明はありませんでした。説明もないのに予算を通した組合議会にも疑問を感じながら、個人的に調べてみました。今あるゴミ焼却施設整備基金のすべてである6億円と、この1年間の売電収益1億円で7億円とのことでした。

しかし、それでは基金がゼロになってしまいます。

古いゴミ焼却施設の解体工事には5億円以上か、もっとかかるといわれています。地元住民の要望ということで、サウナ・水風呂・電気風呂・岩盤浴などを設けるとか、飲食施設やスポーツジムもという計画になっているのですが、そのために、今ありったけの7億円をかけて改修するのか、これまた大問題です。

平成30年度に実施されたあづみ野ランドの老朽度調査の報告書を情報公開したところ、そこには44ページにわたって、あづみ野ランドの修繕改修の概算工事費がまとめられていました。

今あるプールも浴場もそのままの必要最小限の工事で、総額3億1,814万円

（これには強化プラスチックのプール槽の取替費用は入っていませんが、この際交換しておこうとなっても4億円程度か）。

プールを残す改修だと11億円近くかかるとの説明でしたが、そんなにおカネをかけずに改修する方法もあったのです。これを施設運営検討委員会に示して7億円の改修計画になったわけですから、ここを再検討する必要があります。

（これには強化プラスチックのプール槽の取替費用は入っていませんが、この際交換しておこうとなっても4億円程度か）。

プールを残す改修だと11億円近くかかるとの説明でしたが、そんなにおカネをかけずに改修する方法もあったのです。

これを施設運営検討委員会に示して7億円の改修計画になったわけですから、ここを再検討する必要があります。

これを施設運営検討委員会に示して7億円の改修計画になったわけですから、ここを再検討する必要があります。

これを施設運営検討委員会に示して7億円の改修計画になったわけですから、ここを再検討する必要があります。

これを施設運営検討委員会に示して7億円の改修計画になったわけですから、ここを再検討する必要があります。

これを施設運営検討委員会に示して7億円の改修計画になったわけですから、ここを再検討する必要があります。

これを施設運営検討委員会に示して7億円の改修計画になったわけですから、ここを再検討する必要があります。

これを施設運営検討委員会に示して7億円の改修計画になったわけですから、ここを再検討する必要があります。

新年度予算～太田市長 就任して初めての当初予算編成

2022年度一般会計予算総額は426億7,000万円、前年度当初予算と比べて15億7,000万円の増。市税収入は、withコロナで緩やかな経済回復を反映し5.2%増を見込む。市債（借金）は前年度より1.1%減の38億1,800万円、公債費（借金を返すおカネ）は前年度より8.7%増の56億9,351万円。今後、借入れは減っていくものの、返済は2024年度の74億6,602万円（財政計画の数字）をピークに減りつつもその後も続きます。

◆歳入・市民税は前年比8,000万円増を見込む～自主財源である市民税では、8,000万円増の42億1,000万円。「令和3年の毎月勤労統計調査等から、個人の給与所得が若干増加する見込み」との説明だが、コロナ禍にあって給与所得が増加する市民は決して多くはないことを忘れず、市政運営していただきたい。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆歳入・「ふるさと寄附金」～前年度比500万円増の3億円の見込み。

◆保育園・幼稚園業務ICT化事業～スマートフォンやタブレット端末を活用し保護者と園相互の情報のやり取りが円滑にできるように、業務支援システムを導入するために保育園に3,945万円、幼稚園に186万円。Wi-Fi（ワイファイ）無線で通信するための機器を導入するにあたっては、乳幼児に出来る限り電磁波の影響が及ばないように設置することを求めました。

◆水資源対策費～安曇野市水環境基本計画・行動計画はこのほど中間見直しがされ、予算付けも前年度比517万円増の1,628万円に。しかし、地下水の水質に関わることで従来と変わらず「水質モニタリング調査を継続する」としかない。水質悪化の現実を直視し、その対策に予算を付けるべきです。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

◆公共交通事業～1億2,001万円のうち1,238万円は、デマンド交通あづみんがAI（人工知能）を使って送迎時間のお知らせができるようにする（予約システム更新）費用。そのほかに、2台の増車もあり利便性の向上に期待します。

その他の議案～小林じゅん子の判断は

*ロシアによるウクライナ侵略を厳しく非難し、即時撤退を求める意見書

安曇野市議会は、「平和都市宣言」を行った都市として、世界の恒久平和を願い、ロシアによるウクライナ侵略に強く抗議するとともに、ロシアに対しウクライナからの即時完全撤退を強く求める意見書を全会一致で可決。

*化学物質が含まれる香料による健康影響に関する調査等を求める意見書

化学物質過敏症は、その80%以上が匂い・香りのある商品（香り付き洗剤、柔軟剤、除菌剤、消臭剤など）が原因と言われる。国に対し「香害」の実態調査や香料成分の表示等の法的規制を求める意見書を全会一致で可決。

*令和3年度安曇野市一般会計補正予算（第8号）

市議会は可決／小林じゅん子は反対

人材育成支援事業と企業経営健全化事業の業務委託が当初予算から全額減額になり、適正な事業執行が行われなかった。マウンテンバイク関連事業は、市民と行政の協働が見える形で進められておらず残念等々の理由で反対。

▲日本消費者連盟のDVD資料

*令和4年度安曇野市一般会計予算 市議会は可決／小林じゅん子は反対

職員が能力を発揮できる職場環境に見直す必要がある。アウトソーシングの在り方の問題に関する改善策が見えない。水環境基本計画・行動計画などの計画において、やるべき基本的なことが予算にない等々の理由で反対。

香害110番

香りの洪水が体を蝕む



日本消費者連盟